

祝

二

十

歳

二〇二五



2025 二十歳を祝う会 次第

13:30～ 開式の宣言

国歌斉唱

開式の言葉 加茂市教育長 山川雅巳

お祝いの言葉 加茂市長 藤田明美 様

加茂市議会議長 白川克廣 様

二十歳の誓い 二十歳代表 安中大和

市民歌斉唱

閉式の宣言

2025 対象者校区別内訳

(単位：人)

	七谷	若宮	加茂	葵	須田	合計	前年度
男	4	16	57	48	9	134	143
女	4	24	36	48	10	122	108
計	8	40	93	96	19	256	251

式典終了後 記念写真撮影

2025 二十歳を祝う会
令和7年5月3日(土・祝)
加茂文化会館 大ホール
加茂市教育委員会

君が代

日本古歌
林 広守 作曲

♩ = 69

きみがよは ちよにやちよにさざれ
いしのいわおとなりて こけのむすままで

加茂市民歌

大野 昇 作詞
石川 和男 作曲

Tempo Marcia

へいわあかるいあさぞらにくー
もがながれーるあおいやーまかー
わもたはたーもまらなーみもみー
んなきぼーうにかがやいてそ
ろうい きからえがおからぐー
んーと加茂市ーの わかいちからが もりーあがる

加茂市民歌

(一)

平和あかるい 朝空に
雲が流れる 青い山
川も田畑も 街並も
みんな希望に かがやいて
揃う意気から 笑顔から
ぐんと加茂市の
若い力が 盛りあがる

(二)

清い流れに 育くまれ
夢を織りこむ 機之音
鏡のひびきも 野の幸も
みんな楽しく ほがらかに
励む家から 駿場から
樫と加茂市の
文化花咲く 明日が来る

(昭和二十九年九月一日
制定)

加茂市民憲章

東に粟ヶ岳 加茂山の杉木立 西には豊かな田園 信濃川
わたしたちのふるさと加茂市は さわやかな緑につつまれ
加茂川はまちなみを映しながら 信濃川へと注いでいます
わたしたちは この恵まれた自然環境の中で
ユキツバキのねばり強さに似た たくましい市民性と活力を育て
そして連帯の意識を高めなければなりません
先人が培ってきた尊い歴史と文化をふまえて
いきいきとしたまちをつくりあげ
それを大いなる遺産として後世に伝えたいのです

豊かな自然を大切にし

住みよいまちをつくります

強いからだと心をきたえ

明るく笑顔で暮らします

やすらぎのある家庭をつくり

みんなの夢を育てます

いたわりと思いやりの心で

ふれあいの輪をひろげます

みんなで考え 力をあわせ

のびゆくまちを築きます

市民憲章には ふるさと加茂市が住みよく心豊かなまちとして
限りなく伸展するようにとの深い願望がこめられています
この地を こよなく愛する加茂市民のなかに
市民憲章がしっかりと根づき いつまでも生き続けるならば
希望あふれるあしたを約束されると信じます



お祝いの言葉

加茂市長

藤田 明 美

二十歳を迎えられた256人の皆さん、本日は誠におめでとうございます。次世代を担う皆さんが、心身ともに健やかに成長し、無事に二十歳の日の門出を迎えられ、人生の新たな一步を踏み出されますことを心よりお祝い申し上げます。

また、今日まで深い愛情を注いでこられましたご家族の皆様、恩師の皆様、そして、温かく見守ってきてくださいました地域の皆様に対しまして、心から敬意を表しますとともにお慶び申し上げます。

皆さんは、これまでの20年間、多くの出会いや様々な経験をされ、今、二十歳という人生の大きな節目を迎え、将来への夢や希望、新たな決意に胸を膨らませていることと思います。

皆さんが生まれた、またはお母さんのお腹の中にいた2004年は災害の多い年でした。新潟県では、7月に7.13水害と言われる新潟・福島豪雨、続いて10月に中越地震が発生し、皆さんのご家族は小さくて愛おしい命を守ることに心を砕いていたと思います。そして皆さんは生き抜き、立派に成長されました。そのような皆さんの心身の奥底には、困難を乗り越えていける力が既に備わっているのではないかと私は感じています。

大人となったこれからの人生、これまで以上に様々な人々と関わることになるでしょう。時には煩わしく感じ、時には心を豊かにしてくれる他者との「つながり」ですが、皆さんがこれから向き合う世界は、その「つながり」なしには成り立たないことばかりです。ここで、私から皆さんに期待することは、人とつながり、多様な価値観に触れ、互いに支え合う中で皆さん自身の可能性を大きく広げてほしいということです。また、同じ年に生まれ、今こうして同じ場所に集い、成長を喜び合える仲間がいること、これは奇跡であり、必然でもあります。このご縁である「つながり」をいつまでも大切にしてほしいと願っています。

二十歳という年齢は、将来に向かって無限の可能性を秘めています。これから何を学び、どのような職業を選び、どのような生活を送り、どのような未来を作っていくのか、それは皆さんの想いと行動で決めることができます。私は加茂市長としてこれからも皆さんのことをずっと応援しています。

結びに、二十歳を迎えられた皆さんの未来が希望に満ち溢れ、素晴らしいものとなるよう心からお祈り申し上げ、私のお祝いの言葉といたします。本日は誠におめでとうございます。

2025年5月3日



お祝いの言葉

加茂市議会議長

白川克廣

二十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。皆さんが心身ともに健やかに成長され、本日この記念すべき日を迎えられたことを祝い、加茂市議会を代表してお祝いの言葉を申し上げます。

本日この良き日に、立派に成長されました姿をご覧になったご両親、ご家族、関係者の皆様の感慨もひとしおと思ひ、これまでのご指導・ご支援に深く敬意を表し、あわせてお慶びを申し上げます。

さて、二十歳を迎えられた皆さんに、私から三点のお願いを申し上げたいと思います。第1は偏見のない人になっていただきたいということ。第2は地球サイズで物事を考える人になっていただきたいということ。そして第3にすべてにおいてバランスの取れた人になっていただきたいというお願いであります。

様々な変化が想定されるこれからの日本や世界を支えて行くのは、紛れもなく本日ここにお集まりの皆様には他なりません。今後とも研鑽を積み、変動する社会をしっかりと見つめ、自己を確立し、立派な社会人として成長されることを願っております。

人は何かに挑戦し、いろんな社会体験を経験して成長します。その機会は今しかないということを感じ、何事にも積極的に行動し、責任と誇りをもって、明るく健康な明日の社会を築く原動力となられますよう心からご期待申し上げます。

加茂市議会においても、皆さんの活動を後押しできる様、あらゆる努力を惜しむものではありません。皆様の新しい知識と行動力が加茂市の目指す「笑顔あふれるまち加茂」実現に必要であります。

結びに、加茂市の花「雪椿」の花ことばである「変わらない愛」・「控えめな優しさ」・

「誇り」という言葉を贈り、ふるさと加茂を愛する皆さんに幸多からんことを願ってお祝いの言葉といたします。皆さん本当におめでとうございます。

令和7年5月3日



開式の言葉

加茂市教育長

山川 雅 已

「^{はたち}二十歳を祝う会」に参加された皆様、保護者の皆様、二十歳の節目に際しまして謹んでお喜びとお祝いを申し上げます。

今日の皆様の表情には大人としての責任の重さがみなぎって見えます。これまで様々な経験を積まれてきたことがそうさせているのでしょう。立派になられた皆様方に対しまして、お祝いを申し上げます。

そして、今日の晴れの会に残念ながら都合がつかず参加できなかった皆様もいらっしゃいます。その方々にもお祝いを申し上げたいと思います。

現在、海外や国内の旅行等の制限がほぼ無くなり、また外国人旅行者の方々によるインバウンド需要が高まっており、世の中に活気が戻ってきております。

また一方で、海外に目をやりますと、アメリカでは本年1月から第2次トランプ政権が始動しており、世界経済に大きな影響を及ぼしています。また、世界には戦火の絶えない国や地域があり、平和への模索が続いています。

こんな情勢の中で皆様は様々な課題を乗り越えていかなければなりません。しかし、その力は十分に身に付けてこられていると確信しております。そしてその力はこれからの日本の発展や世界の発展のために発揮されるのだと期待を大きくしています。

さて、この式典の名称は、2022年から「^{はたち}二十歳を祝う会」に変更になりました。これは2022年（令和4年）4月1日の民法改正により成年年齢が満18歳に引き下げられました。従来どおりの「成人式」の名称では違和感を覚えるとの理由で、当時の実行委員の皆様から考えていただき、この名称となりました。

しかし、二十歳という節目を、じっくりととらえてこれからの人生の指針を明確にすることも大切です。すでに、その指針にあたるものを見つけられて着実に歩まれている方もいらっしゃるかと推察いたします。

皆さんの中から「お客さんからありがとうございますといわれて仕事にやる気が湧いた」という言葉を聞くことがあります。そのありがとうございますという言葉はしてもらったことだけでなく、誠意に感謝をしているのだととらえるとそれは仕事をすることの誇りにつながるものだと思います。そんな誇りを皆様お一人お一人が様々な思いで持っていただければと思います。

加茂市では、2021年（令和3年）10月に市の総合計画が策定されました。「笑顔あふれるまち加茂」の加茂市のめざす将来像のもと、健康、教育・文化を重点にまちづくりが進められています。まさしくまちづくりの指針を定めて進めているところです。今後とも皆様からこの加茂のまちづくりにご理解とご協力をいただければ幸いです。

この加茂市が豊かで、笑顔あふれるまちとなりますようお願いしたいと思います。そして、共にこれからの日本をさらに豊かな国へと発展させていきましょう。

皆様のこれまでの歩みに敬意を払わせていただき、今後のご活躍を祈念申し上げ本日の式典の開式の言葉といたします。

2025年5月3日

二十歳の誓い

二十歳代表

安中大和

本日は私達が二十歳となり、大人としての新たなスタートをきることに当たり、このような私達の門出を祝う式典を迎えることができ、大変嬉しく思います。

また、式を挙げるに当たり、携わってくださった藤田加茂市長を始めとする関係者様そして本日ご多用の中、お集まりくださいました、来賓の皆様並びに保護者の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

まず、二十歳になるにあたり、この20年間を振り返ってみると懐かしさや楽しさのような思い出が蘇ると同時に子供の頃や小学生、中学生の頃抱いていた純粋な気持ちや毎日のように感じていた高揚感がどこかに消えてしまったと気づいてしまい少し切ない思いを感じてしまいます。目に見える景色すべてが美しく、大きなものに見え、何だっただけだと思っていたあの頃に戻りたいと今となっては何度も何度も感じてしまいます。あの頃の時間がどれほど貴重で大切なものであったのか身に染みて考えさせられます。

いつから私達は大人になってしまったのでしょうか。そんなことも気づかずに私達は時間の流れと共に成長して今後も止まることなくあつという間に人生の階段を登っていくのでしょ。

これから人生の階段を駆け上がるにあたってきっと環境の変化や人間関係のトラブルなどで行き詰まってしまうことがあると思います。

しかし、幼少期や学生時代に経験した苦い思い出が今となっては笑い話になっているように、大抵の事は時間が解決してくれると私は信じています。どんな経験も今後の話の種になり、そして自分にとって大きな財産になると考え、若いうちにしかできない事に勇気を持って挑戦し、自分の夢を追っていきたいと思います。

ゆっくりでも一歩ずつ進み続ければ自分の見たい景色が見えてゆき、夢が形になっていくでしょう。

今後もみなさんの一人ひとりのペースで大人という責任感を持ちながら、自分のやりたいことを気が済むまでやり、自分の人生に花を咲かせていってください。

みなさんの夢ある未来に期待しております。

最後に、私は20年間母親、父親のあんなにも大きくたくましく見えた背中を見て、不器用なりに生きてきました。今私の姿は父、母の目にどのように映っているのでしょうか。立派に育っているのでしょうか？まだまだ子供だなど思われているのでしょうか？

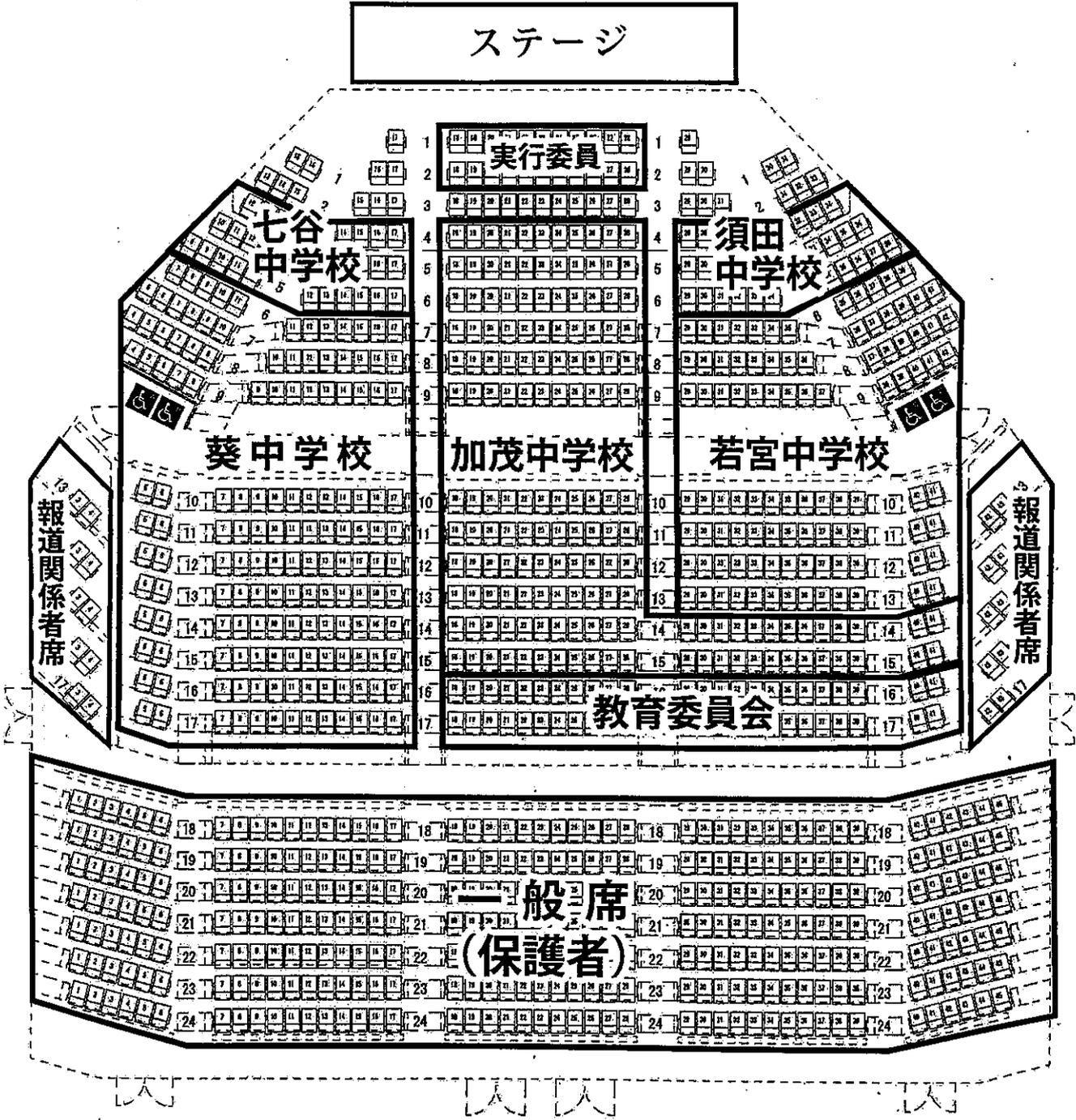
私は年々親の存在がどれほど偉大な物だったのかを痛感させられます。両親の支えがあり、私達は今自分のやりたい事ができています。こらからも心配をかけると思いますが、どうか暖かく私達の成長を見守り続けて欲しいと思います。私はこれから父、母の理想像を超える成長を見せていきますので、楽しみに、お身体に気をつけて待っていてください。

改めまして、本日二十歳を祝う会の開催に携わってくださったすべての皆様に感謝申し上げます。そしてこれまで私達を支えてくださった方達の想いを胸に大人としての責任を持ち歩んでいくことを誓い、代表の言葉とさせていただきます。

2025年5月3日

加茂文化会館 会場案内図

ステージ



式典終了後の広報用記念写真撮影について

二十歳を祝う会の案内状では、式典終了後にステージから客席へ向けて全体写真撮影を行うとご案内しましたが、撮影は卒業中学校ごとに小ホールで行う形に変更します。

撮影した写真は、広報加茂5月15日号に掲載される予定です。写真に写るか・写らないかは、任意ですので、広報紙に載ることを了承いただける方のみ、ご参加くださいますようお願いいたします。

式典終了後、アナウンスに従って大ホールから小ホールに移動していただき、中学校ごとに、①七谷中学校、②若宮中学校、③加茂中学校、④葵中学校、⑤須田中学校の順番で、写真撮影をさせていただきます。

写真撮影の対象者は、二十歳の方々です。混雑を防ぐために、ご家族はすべての撮影が終了するまで小ホールに入れませんので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

記念写真の撮影中、次に撮影する中学校は小ホール前のロビーで待機していただきますので、アナウンスの指示に従って移動をお願いします。

写真撮影を円滑に進行するために、順番待ちの大ホールの二十歳の方々は、席を立たずに、その場で待機をお願いいたします。

撮影がスムーズに行われますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

小ホールでの広報用記念写真撮影が終了した中学校の方々から、大ホールのステージ等でご家族を交えて、自由に写真撮影をしていただけます。

全ての中学校の広報用記念写真の撮影が終了しましたら、小ホールの和傘スポットを開放しますので、自由に写真撮影をしていただけます。時間はおおむね16時までを予定しています。

どうぞよろしくをお願いいたします。

2025 二十歳を祝う会～記念誌について～

■記念誌

記念誌は、加茂市公民館のホームページ上にデジタル掲載いたします。
式典終了後からご覧いただけます。

掲載内容は以下のとおりです。

お祝いのことば	加茂市長	藤田明美様
お祝いのことば	加茂市議会議長	白川克廣様
開式のことば	加茂市教育長	山川雅己
二十歳の誓い	二十歳代表	安中大和
Message ～贈る言葉～	令和元年度 市内中学校 担任の先生方	

URL <https://www.city.kamo.niigata.jp/docs/45546.html>



2025 二十歳を祝う会について

(「加茂市のホームページ」下部にある「加茂市関連リンク」の
「組織別ナビ」→「教育委員会 社会教育課」→「公民館」→
「2025 二十歳を祝う会について」)

Message ～贈る言葉～

二十歳のみなさんへ

令和元年度 七谷中学校 3年学年主任

二十歳のみなさん、おめでとうございます。

みなさんとは、2年生の時から一緒に過ごさせて頂きました。今振り返ってみると一つ一つの事が懐かしく思います。そして、今一番に思い浮かぶことは、卒業式当日の事です。卒業式を目の前にコロナ禍の影響で卒業式が挙行できず、いつになったら卒業式が挙行できるのだろうか？と心配していました。いつもの卒業式と形式は違いましたが、卒業生、保護者の方々、学校職員で挙行することができ、ホットした事を覚えています。そして、今までずっと一緒だった友達との別れは寂しいけれど、同時にこれから新しくスタートする楽しみや期待に満ちていた7名。一人一人の顔が印象的で今でも覚えています。

あれから5年。今まで当たり前に出ていた事が出来なかった事は辛かったと思います。しかし、多くの方々との出会いがあり、大きく成長されたことでしょう。

これからも、自分の個性を大切に、失敗を恐れず、色々な事に挑戦し続けてください。そして、これからも多くの方々の出会いを大切に成長し続けてください。応援しています。

二十歳のみなさんへ

令和元年度 七谷中学校 3年A組担任

皆様、おめでとうございます。

卒業後、数年が経ちました。多くの経験を積み、たくましく成長されたことでしょう。20代の入り口に立った今、どのような思いでいらっしゃるでしょうか。

「たくましく成長」と申し上げましたが、同じ20代として担任を務めた数年前を考えると、楽しさや友達のような親しさもよみがえってきます。改めて、素敵な出会いに感謝申し上げます。

さて、ここまで読まれ、「先生、言葉が硬いですよ？」と思われた方もいらっしゃるでしょう。前は柔らかい言葉での会話でしたからね。この理由は、皆様が二十歳となり、世間から本当の「大人」として見られるようになったからです。この感覚に少しずつ慣れ、社会人として羽ばたく皆様の未来をとっても楽しみにしています。心から応援しております。

大人の人生を歩みつつ、「自分らしさ」は貫いてください。それが人生の指針になります。自分らしさを十分に発揮しながら、ますますご活躍されることをお祈りしております。

二十歳おめでとうございます

令和元年度 若宮中学校 3年主任

「いる、ある、おく、みる、しまう、くる」「は、が、も、こそ、さえ、だって、だけ」「みぜん、れんよう、しゅうし、れんたい、かてい、めいれい」「こ、き、くる、くる、くれ、こい」「かる、かつ、く、う、い、い、けれ、まる」「をにがとよりでからのへや」「これは何?」「謎の呪文?」「そう言えば授業で.....」思い出してきましたか。手拍子しながら、声に出してみたらどうですか。若宮中学校で国語の時間に、手拍子して、時には黒板をたたいて、みなさんに覚えてもらったあれです。中学校卒業から5年も経っているので、一つでも覚えていてくれたら、教師冥利に尽きます。

3060歳、毎日のウォーキングは継続中です。加茂大橋から市役所や粟ヶ岳を見ながら、みなさんのご健康とご活躍を願っています。

二十歳の皆さんへ

令和元年度 若宮中学校 3年担任

二十歳を迎えたみなさん、おめでとうございます。風もみどりの若宮中学校を卒業し、もう5年も経つのですね。この知らせを受け、「おでんのような学校を創りたい」という生徒会長の言葉、そして生徒総会で提示された鍋の絵が思い出されました。仲間と個性を發揮し合える学校にしたい、しかもその味は調和したものにしたい。そんな思いを胸に、多くのことに挑戦しましたね。初めて5月に実施した体育祭。青軍『神威荘厳』と赤軍『ヴァンパイア』の熱い戦い。最後に両軍が大きな円をつくり、肩を組んで校歌を歌い、互いをたたえ合う姿が印象に残っています。また、東京混声合唱団と一緒に全校で合唱した『♪信じる』。笑うときには大口をあけて、おこる時には本気でおこる…君たちを表している曲だったように感じます。どんなことにもまっすぐ立ち向かえるみなさんです。これからの人生、本当にいろんなことがあります。その一つ一つをたくましく切り拓き、突き進めるみなさんだと確信しています！

二十歳おめでとう

令和元年度加茂中学校 3年1組担任

二十歳のみなさん、おめでとうございます。

皆さんが3年生の時に担任になり、1年間という短い期間でしたが、密度の濃い時間を過ごすことができました。生徒会活動や体育祭、合唱コンクールなど1つ1つの行事に全力で取り組み、笑ったり泣いたりしながら向かっていく姿を今でもよく覚えています。

みなさんが卒業してから、あっという間に5年がたち、きっとこの5年間で心も体も大きくも成長し、大人らしくなっているのだと思います。時には辛いことや大変なことも経験しながら生活し、それぞれの道を歩んでいることなのでしょう。卒業生の中にはスーパーやコンビニなど、ちょっとした場所で見かけたり声をかけてくれる人もいました。学生として自分の道を模索している人、社会で活躍している人など、それぞれ立派になった姿に驚かされたことが何度もあります。

これからもそれぞれの道で活躍し、時には迷ったり戻ったりしながら、人として成長し社会に貢献する姿を応援しています。

二十歳の皆さんへ

令和元年度 葵中学校 3学年主任

成人したみなさん、おめでとうございます。みなさんが葵中学校を卒業してから6年の月日が過ぎ、いまさらながらに時が過ぎるのを早く感じました。学校行事や部活動などで、下級生を立派にリードしていたり、学年レクなどにも、楽しそうに取り組んでいたたりしたみなさんのことが思い出されます。みなさんが、中学校を卒業してからこれまでの間、世の中が大きく変わりました。これからもいろいろな場面で変化や違いがみられると思います。しかし、世界の人々が、これまで経験したことがないようなことを、若い時に経験したみなさんは、変化に対応し、乗り越える力に優れていると思います。そうした力をすでに発揮している人もいれば、これから進んでいく道で発揮する人もいます。成人したみなさんが、明るい未来を築いていくことを期待しています。

二十歳の皆さんへ

令和元年度葵中学校 3年2組担任

二十歳を迎えられた葵中学校出身の皆さま、誠におめでとうございます。中学校を卒業して5年が経ちました。あれから多くの人と出会い、多くの経験をし、更に成長し、活躍していることと思います。先日、久しぶりに卒業アルバムを見返しました。どんな事にもキラキラと目を輝かせ、笑顔で写る皆さんの姿を見て、あの頃を思い出しました。3年2組は『かすてら (かっとなばせ スーパー デラックス ラストイヤー)』のごとく、全力で過ごした1年間でした。私にとっても、とても楽しい思い出が、いっぱいありました。

これから、皆さんの人生は楽しいことがたくさんあると思いますが、大変なことや辛いこともあると思います。そんな時、出会った仲間の存在は大きいと思います。人とのつながり、相手を想う心を大切に、実りの多い二十代にしてください。たくさん幸せが訪れる人生になることを願っています。

二十歳の皆さんへ

令和元年度 須田中学校 3年主任

二十歳の皆さん、おめでとうございます。

卒業してから5年。皆さんがどんな大人になったのだろうと想像しています。きっと立派な大人に成長したことでしょ。

皆さんとは2年間一緒に過ごしました。全力で戦った体育祭、心を一つに美しい歌声を重ねた合唱、向上心をもって練習に励んだ部活動、理科室で何日も考えた席替え、日々の何気ない会話。どれを切り取っても楽しい思い出ばかりです。そして何より、15人の絆の深さが印象に残っています。

今はそれぞれの道を進んでいますね。大人になると、様々なことに責任が伴います。辛く苦しいこともあるかもしれませんが、でも、きっと大丈夫。これから歩いていく道に自信をもって進み、大人としての責務を果たして行ってください。皆さんが自分に磨きをかけて、さらに輝ける人生となることを心から願っています。

二十歳の皆さんへ

令和元年度 須田中学校 3年1組担任

新成人の15人の皆さん、この特別な日を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。

二十歳は、人生の新たなステージの始まりです。卒業前に15人で太洋紙いっぱい書いた「私の夢」に何を書いたか覚えていますか？あの時の皆さんの笑顔が今でも思い出されます。夢や目標に向かって、勇気をもって挑戦して行ってください。失敗を恐れず、学びを重ねることで、より素晴らしい自分に成長していくはずですよ。また、周りの人々との絆も大切にしてください。友人や家族との思い出は、人生を豊かにする大切な宝物です。支え合い、共に笑い合い、時には助け合いながら、素晴らしい時間を過ごしてください。

これからの人生には、喜びや挑戦、時には困難もあるかもしれませんが、元気で前向きな15人ならきっと乗り越えられます。自分自身を信じて進んでください。これからの未来が輝かしいものでありますように、心から願っています。

最後に、二十歳という新たな門出を迎えた15人に、幸せと成功が訪れるように願っています。

祝
二
十
歳

二〇二五

